

令和6年度 第2回千歳市緑化審議会 会議概要

■日時

令和7年2月28日（金）14時00分～15時30分

■場所

千歳市役所本庁舎2階庁議室

■出席者

委員出席者：愛甲委員（会長）、竹田委員（副会長）、外崎委員、高橋委員、小田委員、
南家委員、津田委員、井溪委員、立田委員、古幡委員、山根委員、佐々木委員、
松本委員、渡辺委員
（計14名）

委員欠席者：丹波委員

事務局：建設部長、建設部次長、都市整備課長ほか5名

傍聴者：なし

■会議結果

1 開会

2 会長挨拶

3 議事・その他

- (1) 千歳市緑の基本計画(改定)の概要について
- (2) 千歳市の緑の現況と課題について
- (3) 千歳市緑の基本計画(改定)の基本理念と基本方針について
- (4) 緑の保全及びまちづくりのための施策について
- (5) 今後のスケジュールについて

<議事>

- ・千歳市緑の基本計画の基本理念は、「未来へつなぐ 豊かな緑と清らかな水」に決定した。
- ・全ての議事について承認済みとなり、事務局案のとおり進めていくこととなった。
- ・文章や体裁については、より良い素案作成のため、今後も修正を加えていくこととなった。
- ・議事(5)今後のスケジュールについては、進捗状況により変更となることについて了承を得た。

<その他>

- ・「千歳市都市公園等利活用計画」について、事務局から説明を行い、報告済みとなった。
- ・委員より、2026年に千歳市の空港開港100年を迎えるに当たり、緑や花でまちを盛り上げた
い旨、提案があったことから、他課とも情報共有を図り、検討していくこととなった。

4 閉会

■会議における意見及び質疑応答等

1 議事(1)～(4)について（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）

【会 長】

千歳市緑の基本計画の基本理念について、特にご意見がないようなので、専門部会において一番投票数の多かった、案①「未来へつなぐ 豊かな緑と清らかな水」に決定してよろしいか。

【委員一同】

異議なし。

【会 長】

千歳市緑の基本計画の基本理念については、案①「未来へつなぐ 豊かな緑と清らかな水」に決定する。

【会 長】

事務局から説明のあった議事（１）から（４）までの内容について、お一人ずつ意見や感想をお願いしたい。

【委 員 A】

これまで３回専門部会を開催して出た意見が整理されている。今後も気付いたことがあれば発言させていただく。

【委 員 B】

近場の公園などは、もっと使い勝手が良くなるといい。町内会管理は、全体的に高齢化で対応できないことから、今後どうしていくかが大きな問題と思っている。

【会 長】

町内会管理の公園数は現状でどのくらいか。

【事 務 局】

町内会管理は現在 110 公園あるが、年々、減少傾向である。

【委 員 C】

課題抽出から基本方針・施策まで、うまく体系づけられていると思う。今後はよりわかりやすい文言整理を行ってほしいと思う。

【委 員 D】

施策が実現すれば公園が使いやすくなると思うので、実現できるように進んでいくといい。

【委員 E】

昨日、団体の集まりがあり、大きな企業が立地することに対する不安が大きいと感じたが、基本理念や施策において、緑を未来へつなぐと記載されているので、今ある千歳の美しい場所を残しつつ、使いやすいように進化していけたらいいと思う。

【委員 F】

内容は問題ないので、このまま進めていただければと思う。基本方針 2 の「つかう」において、広く情報発信に努めると記載があるが、現状ではどのような情報発信を行っていて、今後どう変えていこうとしているのか。

【事務局】

公園に関する情報発信としては、千歳市のホームページや指定管理者である千歳市環境整備事業協同組合のホームページにおいて公園情報などを掲載しており、緑化振興に関する情報発信としては、ちとせ環境と緑の財団（以下「財団」という。）のホームページにおいて、イベント情報や緑化振興事業などについて掲載するとともに、千歳市公式 LINE など活用しながら発信している状況である。

現状では、ホームページまで情報を取りに来ていただかないと伝わらない状況のため、こちらからいかに発信して伝えていけるかが今後の課題であり、発信手法について検討していきたいと考えている。

また、今後は、公園を PR するためのガイドのようなものを作成し、遊び場や遊具などについて市民等に知ってもらえるきっかけをつくっていきたいと考えている。

【会長】

千歳市長のInstagramに各部からの情報は掲載できるのか。

【事務局】

千歳市長の公式アカウントのため、各部からの情報は掲載していないが、Instagramへの情報掲載についても検討していきたいと考えている。

【会長】

子育て関係で、公園を探すときはこういった手段で探すのか。

【委員 D】

Instagramを活用することが多い。市公式アカウントのそらまちキッズ navi など活用しており、公園内の駐車場やトイレの有無なども掲載されていることから、参考にしている。

【委員 G】

3 回開催した専門部会において、課題などを皆で考えて、それを盛り込んだ施策案となっているので、よいものができたと思っている。ラピダスの立地により、社会の動きが速くなっていることから、今後も経済動向を反映させていければいいと思う。

また、イベントにおいては、昔はテントで出店していたものがキッチンカーになったり、公園

においては、バスケがしたいなどの要望もあり、多様なニーズに対応できるようにしておくとういと思う。

【委員 H】

農村地域が緑の定義に含まれたのはいいことだと思う。観光客も農村地域に訪れているようなので、皆で検討して良い方向に向かっていけばいい。

【事務局】

農地については、都市緑地法の改正により、緑地の定義に農地が含まれることとなったことから、今回から緑の基本計画の対象に含むこととした。

【会長】

千歳工業クラブは工場系の企業の集まりか。

【委員 H】

事務局は千歳商工会議所であり、千歳市にある工業関連企業 162 社から成っている。

【会長】

最近、緑化に熱心な企業も増えてきていることから、千歳工業クラブのような団体を積極的に取り込んでいくことも大切である。

【委員 I】

基本理念の「未来へつなぐ」が難しいところだと思っている。今年は暖かくて雪もなく過ごしやすいが、今までと環境が明らかに変わっていることが気になっている。企業が入ってくることも関連するが、未来へつなぐことが難しいと思う。

【委員 J】

町内会や千歳市が管理する花壇があり、町内会は地域住民の管理、公園内は千歳市の管理と認識しているが、町内会が高齢化し、管理できない状況になりつつある中、「未来へつなぐ」について、この状況に千歳市としてどう対応していくのかが見えてこない。

また、ボランティアも減ってきている中、花壇を管理する人がいなくなったらどうするのか、千歳市の財政でカバーできる問題でもないのに、未来がどうなるのか漠然とした不安がある。

【会長】

ボランティアに関しては、施策の方針案に、参加機会の創出や人材育成とあるが、人が集まらなければ人材育成もできないので、計画に記載できるのであれば、もう少し具体的な内容を検討して頂ければと思う。

【委員 K】

町内会の高齢化が進んでいるが、少ない人数でも従来通りの公園管理を行っている中で、避難場所としての公園をどう維持していくか、公園を使って地域の輪をどう維持するか考えている

ところである。

また、春先以降は街路の清掃も行っているが、ごみは無くならず、植樹柵に花が咲いていればごみを捨てる人も減るのではないかと思う。植樹柵については、千歳市で管理しているようだが、植樹柵の除草は、年に何回行っているのか。

【事務局】

植樹柵の除草は、道路管理者が年1回以上は行っているが、詳しい回数については担当課へ確認し、ご連絡する。（審議会後、道路管理課へ確認し、植樹柵の除草は6月から9月の間に年2回行っていることについて、質問した委員に連絡済み。）

また、植樹柵を活用した花植えについては、財団における緑化推進事業として、花いっぱいコンクールなどを行っており、市としてもなるべく花を植えてもらいたいと思っているが、町内会単位では高齢化で難しいとも聞いている。今後はもっと情報発信を行い、企業の緑化活動にも期待したいと考えている。

【委員 L】

人材を育てるカリキュラムについて、身近にある緑の価値に気づくためには、緑との関わりを持ち、学んでいく必要があり、皆で緑や花壇を作っていくことが環境保全につながっていくと考えている。

まずは、身近な公園や街路樹の植樹柵など、目に付くところを活用しながら皆が緑に関わっていくことが大切だと思っている。

【会長】

企業との連携や官民連携、ボランティアをどうつなぐか。学校教育も切り口としてあると思う。

【委員 M】

専門部会の総評なので、説明内容に異論はない。まだ具体的な内容は示されていないが、これからは管理がメインの時代になると考えており、お金と手間のかからない管理が重要だと思う。

また、街路樹の植樹柵の除草については、幹線道路は市において年2回行っているが、生活道路は町内会の管理と認識していた。誰がどのように管理をするのか明確にした方がよいと思う。

【事務局】

生活道路における植樹柵の管理については、今ははっきりとお答えできないため、担当課へ確認する。（審議会後、道路管理課へ確認し、花いっぱいコンクールを実施している植樹柵以外は、市が管理しており、年2回の除草を行っていることについて確認済み）

【会長】

大きくなりすぎた街路樹をどうするか問題になっている地域もある。木を切ることに反対する人もいるので、どう更新していくかも重要。課題2について、緑のネットワークは重要だが、連続性を確保すると外来種や熊が入ってくることも問題になってくることから、つなぎつつ、寸断することも必要なので、誤解を招かないよう記載内容を検討した方がよい。

【会 長】

以上の内容について、千歳市緑の基本計画の内容として承認してよろしいか。

【委員一同】

千歳市緑の基本計画の内容として承認する。

【委 員 C】

本日示された施策（案）について、更に個別の取組を計画書に明記する予定か。

【事 務 局】

個別の取組まで明記することを考えている。

2 議事(5)について

【会 長】

庁内他部局との調整はいつ行うか。

【事 務 局】

素案ができた段階で関係部署と調整を行うことを考えている。

3 その他

(1)「千歳市都市公園等利活用計画」（以下「計画」という。）について事務局から説明。

【委 員 M】

指定管理者とは関係ないのか。

【事 務 局】

指定管理者とは既に計画について話をしており、公園の利活用については、今後指定管理者と調整しながら進めていく予定である。

【委 員 C】

アーバンスポーツについて、近隣住民にはどの時点でアンケート調査を行うのか。

【事 務 局】

公園内に移動式のバスケットゴールを試験設置した後にアンケート調査を行い、騒音などが問題にならないか検証していく予定である。

【委 員 J】

オリンピック競技になっているものは、公園などでできるようにしてもらいたい。

【事 務 局】

スケートボードは騒音が大きく、クライミングの屋外設置は管理が難しい。

【委員 M】

通常の公園管理に影響はないか。

【事務局】

除草などの公園の通常管理と実証実験は並行して実施可能と考えている。

【委員 E】

青葉公園は、使う場所と保護する場所のメリハリをつけてもらいたい。青葉公園内には、フクロウやモモンガの巣があり、Instagramで投稿すると人が集まり、フクロウやモモンガがいなくなってしまう。使う場所と保護する場所は明確にしてもらいたい。

【事務局】

それぞれの公園の特徴を踏まえ、活用を図る場所については十分検討しながら進めていきたい。

(2) 委員からの提案

【委員 L】

来年、千歳市の空港開港 100 年を迎えるに当たり、花壇や植樹樹に開港 100 年に関連する花を植え、街全体のお祝いムードを高められないかと考えている。開港 100 年を緑や花で盛り上げることで、市民や観光客への PR にもなる。折角の貴重な機会なので、ご検討いただければありがたい。

【事務局】

千歳市が管理している駅前やグリーンベルトの花壇整備や、財団が開催している花いっぱいコンクールにおける町内会や学校等への花苗の配布、ウエルカム花ロードなどと連携できるように他課とも情報共有していきたい。

【委員 J】

ボランティアの組織も複数あるので、代表者が一斉に集まって、花の種類や色の統一など話し合いができればいいと思う。

【事務局】

そういった場を設けられるか、調整していきたいと思う。

以上